

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

冬の「大連」訪問！

JSC 貿易部ニュース 中国編

いつもお世話になっております。

当メールマガに目を通して頂いて
ありがとうございます。

例年ですと、この時期のメールマガ
は、中国の春節（旧暦のお正月）の
様子などを、写真を交えて楽しい
雰囲気でご紹介するのですが、今年に限っては様相が違い大変なことになっております。



皆様もテレビなどの報道でお聞き及びの通り、現在湖北省・武漢市から広まったコロナ
ウイルスが猛威を奮っており、いまだ収束の糸口が見当たらない状況にあります。

つい先日は日本国内でもヒトからヒトへの感染が見つかったとのこと。今年は暖冬との
ことで、通常のインフルエンザは昨年よりおとなしめらしいですが、新型ウイルスがこれ
以上拡大しないように祈るのみであります。

手洗い・うがい・マスクが大事と繰り返し言われていますので、皆様も十二分にご自愛
ください。

中国各社の生産状況についても引き続き情報収集を行っておりますので、弊社担当を
通じてお知らせできればと存じます。

さて話は変わりまして、1月の中ごろに中国の東北部にある大連を訪問しておりました。

大連の位置は北緯約39度、日本でいえば岩手県と同じくらいです。飛行機が着いた時間
は夕方5時くらいで、すでに辺りは薄暗く、気温も氷点下を下回っていました。

それでも、現地の人の話によれば「今年は暖冬」らしく、「ぜんぜん寒くない」らしいです。

関西生まれの私もヒートテックを着込んだうえで、「そうですね。思ったより寒くないですね」と話を合わせます。

春節間際ということもあり、故郷で過ごすのか相手にたずねたところ、最近は自分の父母や親戚も田舎から都会に呼び寄せている人も多く、「自分もそうだ」とのこと。最近はこのように春節に田舎に帰らない人もチラホラ見かけるようになってきました。

タイトルに載せた写真ですが、現在、大連市の西側に（関西空港のような）海上空港を建設中らしいです。地盤沈下対策のため当初の予定より建設に時間がかかっているようですが、ここ数年経済的に元気のない中国東北部（遼寧省・吉林省・黒竜江省）の起爆剤の役割を担っています。

また環境保護の流れで大部分の鉱山が閉鎖に追い込まれている福建省と違い、K-12やG1790など黒竜江省の石は、大きな影響を受けず当面は採掘を継続するそうです。

今回訪問したある工場では、冬の閑散期を利用して、巨大な原石を持ち運べるリフトや3メートル以上を切断できる切削機を投入し、新年の注文にむけ大きな意気込みを感じました。

大連で加工できる石種は主に白系統～青・中間色系統ですが、その中でもいろいろ特色ある石種を取り揃えておりますので、ご興味ございましたら、弊社営業員までお問合せくださいませ。



今月は以上です。また来月のメルマガもご期待ください。

2020/02/01